

第2回 国道169号下北山村上池原地区防災対策

検討委員会 議事概要

- 1 日時 : 令和6年1月9日 10:00～
- 2 場所 : 奈良県庁 第一会議室 (オンライン)
- 3 出席者 :

委員長	京都大学 名誉教授	大西 有三
委員	関西大学 社会安全学部 教授	小山 倫史
委員	京都大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 准教授	橋本 涼太
委員	国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長	渡邊 一弘
委員	国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員	浅井 健一
委員	国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター長	青山 淳
委員	奈良県県土マネジメント部次長 (土木・政策統括担当)	安井 広之

4 議 事

- (1) 資料説明
- (2) 質疑・意見交換

主な議事内容

(1) 資料説明

事務局より配布資料に沿って説明

- ・ 第1回検討委員会の議事要旨
- ・ 現地概要ならびに1月8日までの対応状況
- ・ 過去の経緯
- ・ 調査検討結果
- ・ 応急・恒久対策の検討方針 (案)
- ・ 今後のスケジュール (案)

(2) 質疑・意見交換

まとめ)

○調査について

- ・ 調査計画は概ね良いと思われる。
- ・ 法面頭部の緩みも認識して調査すべき。
- ・ 赤外線で吹付の裏の風化が進んでいることが考えられる箇所について、コア抜きも併用し、調査を進めるべき。
- ・ 法面の分析を進めていることに関して、施設の補修記録も分析する。よく補修している箇所については、ゆるみの予兆とも考えられるので、注意が必要。

○応急対策について

- ・ 監視計画に基づいて安全に周辺の調査を行うとともに、調査結果に基づき応急対策の案を決定するのが良い。
- ・ 調査結果によっては、第1案については、押さえ盛土よりも大型土のうによるポケットの設置が有効と考える。

○その他

- ・ 今後施工中においても監視が必要であるが、機械のみの計測だけでなく、人間の目でも監視すべき。計測において作業中止の閾値は慎重に判断すべき。
- ・ 路線全体のこれからの監視について、全体計画が必要。広範囲でみれるような技術（合成開口レーダーを使う、UAVを使うなど）を用いるなど、優先順位を考えた上で実施するよう検討すべき。
- ・ 今後の管理において、沿道全体で計器による監視は難しいので、日頃のパトロールで念入りに行うことが大事。頻繁に変状があるところは重点的に見ていくなどが必要。